

第4期栃木県食育推進計画「とちぎ食育元気プラン2025」令和3(2021)年度の実績等について(概要)

令和4(2022)年6月28日
保健福祉部健康増進課、農政部農政課、教育委員会事務局学校安全課

1 令和3(2021)年度の実績

基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

指標	基準値	実績値	目標値
農業体験を複数回したことがある県民の割合	67.9% 令和2(2020)年度	65.6% 令和3(2021)年度	90% 令和7(2025)年度
学校給食における地場産物活用割合を基準値より向上した市町の割合	令和3年度調査の各市町の数値を基準値とする	※	100% 令和7(2025)年度

※令和3(2021)年度の基準値を基に令和4(2022)年度以降の実績値を算出

【目標値達成に向けた主な取組】

- ・ グリーン・ツーリズム実践者の活動のための研修会の開催や「見る、食べる、体験する」情報の発信
(研修会2回、専用WEB「とちぎの農村めぐり」による情報発信)
- ・ フードバンク活動等に関する理解促進
(リーフレット配布 23,195部、フードドライブ実施3回)
- ・ 学校給食における県産農産物の活用拡大に向けた支援
(地産地消給食への助成 8市町等、全小中学校へ農業の魅力を伝えるDVD配布)
など

基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

指標	基準値	実績値	目標値
ヘルシーメニューの提供に取り組む飲食店の登録数	362店舗 令和元(2019)年度	364店舗 令和3(2021)年度	550店舗以上 令和4(2022)年度
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	49.5% 平成28(2016)年度	※	80%以上 令和4(2022)年度
・朝食を「あまり食べていない」「全く食べていない」児童生徒の割合 (小6中3) ・朝食を「全く食べない」生徒の割合 (高3)	小3.7% 中5.4% 高5.3% 令和元(2019)年度	小4.8% 中6.3% 高5.9% 令和3(2021)年度	0%を目指す 令和7(2025)年度

※令和4(2022)年度に調査を実施予定(調査周期は概ね5年に1回)

【目標値達成に向けた主な取組】

- ・ 外食栄養成分表示に関する県民や飲食店等への周知
(講習会等による啓発34回、店舗への個別支援11店等)
- ・ 「食べて健康!プロジェクト」やボランティア団体と連携した地域の食育推進を実施
(ワーキング等17回、料理教室等787回、啓発事業1,244回)
- ・ 食への理解や正しい食生活等の指導に向けた学校への専門家の派遣
(大学教授や管理栄養士等の派遣 小中県立学校等4校)
など

基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

指標	基準値	実績値	目標値
食の安全に関する情報発信(年間回数)	—	92回 令和3(2021)年度	延べ250回以上 令和3(2021)年度~ 令和7(2025)年度
とちぎ食育応援団活動数	64回 令和元(2019)年度	24回 令和3(2021)年度	延べ300回以上 令和3(2021)年度~ 令和7(2025)年度
食育推進計画を策定している市町の割合	96% 令和2(2020)年度	88% 令和3(2021)年度	100% 令和7(2025)年度

【目標値達成に向けた主な取組】

- ・ 農産物等の放射性物質モニタリング検査の公表及び食の安全に関する情報発信(SNS「とちまる食の安全通信」92回)
- ・ 保育士や栄養教諭等を対象とした食育に関わる人材育成に向けた研修(参加者:1,049人)
- ・ とちぎ食育推進月間等を通じた食育の普及啓発
(食育応援団による講座:24回、絵画・ポスターコンクール:2,637点)
など

2 令和4(2022)年度の主な取組

基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

(1) 食を楽しむ機会の確保

- ・「家庭の日」絵日記コンテスト等による「家庭の日」の定着に向けた啓発や「家族の食育の日」における共食等の環境づくり推進
- ・保育士・栄養士の資質向上研修や保育園・小学校等における調理実習の実施等により、未就学児や児童が食を学び楽しむ機会の充実

(2) 食に感謝する心の醸成

- ・グリーン・ツーリズム等の食と農に触れ合う機会を通じた県産農産物やそれに関わる人々への県民理解促進
- ・フードバンク活動や食品廃棄物等の利活用を促進し、食べ物等の地域資源を大切にすることを醸成

(3) 地域の食材や食文化への理解促進

- ・学校給食における地元農産物の活用や郷土料理メニュー等の導入を支援し、食を通じた農業への理解を促進
- ・旬の農産物、ブランド農産物、加工商品の飲食店等の活用促進やそれらの取組先等に関する情報発信

基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

(1) 正しい食生活に向けた環境整備

- ・飲食店や食品関連企業等と連携した栄養成分表示の活用促進やとちぎのヘルシーグルメ推進店の登録拡大
- ・栄養や食品表示に関する正しい理解の促進と事業に関わる地域の人材育成・支援

(2) 栄養バランスのとれた食生活の推進

- ・食生活改善推進員や「食べて健康！プロジェクト」参加団体企業等と連携した健康な食事や生活習慣病予防に係る普及啓発
- ・子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた適切な食生活(減塩、野菜摂取等)の普及啓発

(3) 規則正しい食生活の推進

- ・学校や保育所、幼稚園等と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ・地域や職場などにおける健康相談や研修会等の実施

基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

(1) 食の安全性に関する信頼の確保

- ・地域、学校等での食品の安全性に関する知識習得への支援を通じ、消費者の食に対する信頼性を確保
- ・農産物等の放射性物質モニタリング検査の公表や食の安全に関する情報発信を通じて、消費者の食の安全に関する知識習得を支援

(2) 食育に関わる人材の確保と活動促進

- ・食生活改善推進員や地域の管理栄養士・栄養士の資質向上研修会及び栄養教諭・学校栄養職員研修会等を通じ、食育の指導を行う人材を養成

(3) 食に関わる関係者の連携強化

- ・いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会を活用し、市町や関係団体等と連携した食育啓発活動を展開